

農繁期 レポート

令和7年 8月号

バードライフファーム

オーナー	バードライフ
産地	鳥取県日野郡日南町
水田面積	22.5アール
保証量	玄米1,013kg
形態品種	特別栽培コシヒカリ



生産者 ノータス研究所株式会社

まだまだ残暑厳しいこの頃ですが、お盆の頃の雨で、たっぷり水が田んぼにあたり、稲穂もふくらみ、ほっとしています。町内には水が間に合わなかった田んぼもあり、改めて雨のありがたみを感じています。8月に入りドローンによる害虫防除作業、害獣対策の電柵の点検、草刈りと稲刈りに向けた準備で毎日忙しくしております。稲穂も色づきはじめ、もうすぐ新米の季節です。

美味しいお米を届けられる用に生産部一同暑さにめげず頑張りますので、宜しくお願い致します。

8月の作業内容等

1. 出穂

茎の中から、さやを割ってうす緑色の穂(ほ)が出てきます。このことを出穂(しゅっすい)といいます。そして、この穂にお米の花が咲き、受粉した粳(もみ)がお米へと成長していきます。



出穂直後の柔らかい粳

2. 登熟

受粉した粳は、光合成で作られたブドウ糖が、酵素の働きによってデンプンに変わり、少しずつ実っていきます。お米は、太陽のエネルギーをたっぷりと蓄えて、私たちの暮らしや活動を支えてくれる頼もしい存在でもあります。



成熟しつつある粳

3. 高温障害と夜間気温

デンプンの粳への蓄積は夜間に行われます。ところが、夜間気温が高い場合、稲の呼吸が活性化しデンプンをエネルギーとして消費してしまうため、蓄積がうまくいかなくなり未熟粒になってしまいます。



成熟した粳

4. イネカメムシの防除

近年、イネカメムシによる斑点米被害が増加しています。要因として、温暖化による成虫の越冬成功率の上昇、繁殖サイクルの短縮化などがあげられています。現在、農協や自治体を挙げて、発生予測や防除方法の情報提供を強化しています。



ドローンを使った防除